

# 旬のふじのくに

とにかく  
地元が大好きなんです。



ショートトラック・スピードスケート日本代表

## 伊藤亜由子氏

### profile

伊藤亜由子(いとう・あゆこ)  
1986年、浜松市生まれ。2010年、静岡県初のショートトラック・スピードスケート日本代表としてバンクーバー冬季五輪に出場。2012年「全日本ショートトラック選手権大会」で総合優勝、大会2連覇を達成。現在の所属はトヨタ自動車。愛知県豊田市在住。



子供の頃から負けず嫌いの伊藤さんには、浜松人特有の「やらまいか精神」が息づいている。



信条は、子供たちに「ショートトラックの選手になりたい」と思ってもらえるような走りをする。

狭いスケートリンクが幸い

浜松市生まれの伊藤亜由子さんは、アイスホッケーの選手だった父親の影響で、小学2年生のときにアイススケートを始めた。「私の家庭はスポーツ一家で、陸上や水泳もやっていました」と伊藤さんは当時を振り返る。転機は中学2年生のとき。「自分の持ち味や体格、そして狭い浜松のスケートリンクという条件が重なってショートトラックに目覚めました。これなら私にも戦える」と。以来、伊藤さんは「やらされてる練習」から脱却して覚醒。国内外の競技会で輝かしい成績を次々と残す。2011年の「全日本ショートトラック選手権大会」では500m、1000m、1500mの全種目優勝という快挙も成し遂げた。

富士山と浜松餃子でおもてなし

伊藤さんは、2014年のソチ五輪でも活躍が期待されている。「バンクーバーのときは静岡県の人も応援に駆けつけてくれて、すごく嬉しかったです」と伊藤さん。そんな伊藤さんは、郷里に対する思いも深い。「とにかく静岡が好きなんです。大会前には必ず法多山へ必勝祈願に行きます。中田島砂丘や館山寺温泉も大好きな場所。新幹線の移動中に浜松で途中下車してしまいうこともあり。それと、やっぱり浜松餃子ですね。もし県外の人に静岡県を紹介するなら、富士山と浜名湖と餃子は外せません」と伊藤さんは快活に笑う。浜松人の「やらまいか精神」と持ち前の明るさで、伊藤さんは世界のトップを目指して加速し続ける。

静岡県出身で初めてショートトラックのオリンピック代表(2010バンクーバー大会)に選ばれた伊藤亜由子さん。ソチオリンピックに向けて、世界を舞台に活躍する伊藤さんに郷里への思いを語ってもらった。